

いずもぎき

議会だより

第118号

2023 令和5年1月25日

12月定例会

もくじ

新年のごあいさつ	2
12月定例会	3
補正予算質疑	4
一般質問	5
委員会視察	13
全員協議会	14
出雲崎高校意見交換会	16
出雲崎中学校意見交換会	17
出まえ議会	18
議会のうごき	18
議会サロン今後の予定	19



新年のごあいさつ

議長 三輪 正

皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年はコロナ禍に翻弄され、二月にはロシアのウクライナ侵攻という世界中に衝撃のニュースが流れました。約1年近くも続き、未だ終息の動きがなく、長期化が心配されます。またエネルギー資源、食料の供給、価格の高騰に世界中が大混乱となり、生活に大きな影響をもたらしています。

町も各種対策を実施しています。議会としては皆さんの声を聞き、町民目線に立って、暮らしを守るため町に要望、提案を続けていきます。

現在実施しております「出まえ議会」、「議会サロン」についてはより沢山の皆さまが参加されるやり方を検討してまいります。

また全国的に議員のなり手不足が深刻化しており、県内各町村議会でも対策に苦慮しており、当議会でも次回の選挙戦に向けて真剣に取り組む必要があります。

当議会も町の発展のため、町当局に積極的に要望、提言をして、議会活動の活性化が町の活性化になると考えます。

本年も議員の10名、全力で頑張ってまいりますので皆さまのご指導ご協力をお願い申し上げます。



12月定例会

議案21件を可決・承認

会期 12月12日～16日 (5日間)

可決した補正予算

会 計	補正額	補正後の予算額
令和4年度一般会計 (第6号) (専決)	7,359万1千円	36億8,454万9千円
令和4年度一般会計 (第7号)	4,062万2千円	37億2,517万1千円
特別会計		
国民健康保険事業 (第2号)	2,433万6千円	5億3,290万1千円
介護保険事業 (第2号)	59万8千円	6億9,201万5千円
後期高齢者医療 (第1号)	275万3千円	6,344万7千円
簡易水道事業 (第3号)	10万0千円	2億3,512万8千円
農業集落排水事業 (第2号)	8万6千円	1億161万4千円
下水道事業 (第3号)	39万4千円	3億980万3千円

一般会計補正予算 (第6号) 専決

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> 電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業費補助金 …… 2,780万円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金追加 …… 2,310万円 プレミアム商品券販売料追加 …… 2,100万円 	<ul style="list-style-type: none"> 電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 …… 2,780万円 プレミアム商品券利用事業交付金追加 …… 4,200万円

一般会計補正予算 (第7号)

主な歳入	主な歳出
<ul style="list-style-type: none"> 地方交付税追加 …… 1億7,725万円 子どものための教育・保育給付費負担金追加 (国から) …… 1,465万円 子どものための教育・保育給付費負担金追加 (県から) …… 173万円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金追加 …… 2,204万円 デジタル基盤改革支援補助金 …… 850万円 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口申請書記入サポートリンクシステム導入委託料 …… 877万円 小木之城保育園保育実施委託料追加 …… 159万円 広域入所保育実施委託料 …… 155万円 出雲崎こども園施設型給付費 …… 1,838万円 主食用米緊急支援事業補助金 …… 1,050万円 町漁業者経営支援事業補助金 …… 73万円 公共施設管理システム導入委託料 …… 82万円 町社会福祉施設物価高騰対策支援金 …… 71万円

教えて 定 例 会

窓口申請書記入サポートリンクシステム導入って？

マイナンバーカードを提示することで氏名や住所などの記入を省略することができます。33種類の申請書が対象になるんだよ。



転入などによる委託料の追加だよ。小木之城保育園で3人、出雲崎こども園で11人、広域入所で4人が入園したよ。

保育園などにお金が使われているのは何？



公共施設管理システム導入ってこれからどうなるの？

パソコンやスマホから予約状況を確認できるんだよ。今後は予約も行えるようにしたいんだ。中央公民館、海岸公民館、町民体育館、多目的運動場、町民野球場、屋内ゲートボール場、柔道場が対象だよ。



令和4年12月12日

補正予算 質疑

多世代交流館
周辺公園整備
基本計画作成委託料

49万円

加藤議員 公園整備とは、どのような構想なのか。

こども未来室長 「きらり」や、町民体育館周辺に公園を集約するもので、アスレチックやウォーキングコースが考えられている。

町農業水利施設
電気料高騰対策支援金

75万円

高桑議員 対象が15団体になっっているが、どのようなところに支援するのか。

産業観光課長 農家組合や、水利組合。その他、組織はないが数名で管理をしている等集落でポンプを持っているところに支援を行う。

公設学習塾

講師報償減

▲100万円

島議員 減額の理由は何か。

教育課長 当初は3人の講師で、2つのクラスを教える予定であったが、1クラス1名の講師で対応ができた。
なお、夏期・冬期の特別講習の時は講師を増やして対応している。

福祉車両運行・
介助業務委託料減

▲56万円

仙海議員 減額の理由は何か。

また、運転免許証を持たない高齢者が、コロナ感染の疑いがある場合に受診する際の交通手段がないと聞く。町として対応できないものか。

保健福祉課長 車椅子でワク

チン接種に来る方の送迎を、やすらぎの里に委託している。人数が少なかったために減額となった。免許証を持たない高齢者の受診の話は聞いているが、町として何ができるか今後検討したい。

町公共管理システム
導入委託料

82万円

仙海議員 町の公共施設の予約状況を、パソコンやスマホで見ることができ、今後は予約も行えるとのことだが、町民体育館などは、町外者の利用が多く、町民が不便を感じる。町民が施設を優先的に使えるように検討を願いたい。

支障木伐採業務
委託料

80万円

小黒議員 伐採した木の処理はどのようにしているのか。

与板維持管理事務所では、薪などで利用する方に無償提供しているが当町でもそのようなことはできないものか。

総務課長 伐採した木は残置

している。無償提供については、定期的な伐採もなく、保管場所も限られてくるが、今後、検討したい。

冷凍ショーケース
購入費

21万円

加藤議員 天領の里の売店に入れるとのことだが、目的は何か。

他の道の駅のように、日用品や、生鮮食品などを販売することはできないか。

タブレットバッテリー
修繕費

77万円

加藤議員 小学校のタブレットのバッテリーの修繕だが、バッテリーが故障した原因や保管態勢はどのようなになっていたのか。

教育課長 故障の原因は保管

キャビネットを高温の教室に置き電源が常に入っていたことと、電池の充電機能が低下していたことと思われる。

今後は暑いところに置かず充電しないときは、電源を切る等の対応を行う。



冷凍ショーケース

産業観光課長 良寛アイスや、魚の加工品など当町の特産品を陳列する。日用品など、販売できる物があれば、天領の里と一緒に検討を行いたい。



質問項目
1. 買い物難民救済策は

[詳細は6ページ](#)



質問項目
1. イノシシによる被害防止策について

[詳細は7ページ](#)



質問項目
1. 災害時の職員対応と避難所運営について
2. 天領の里「イベント広場」整備について

[詳細は8ページ](#)



質問項目
1. 起業支援について

[詳細は9ページ](#)



質問項目
1. 地域おこし協力隊の募集について

[詳細は10ページ](#)



質問項目
1. 新年度当初予算の編成にあたり重点方針は何か

[詳細は11ページ](#)



質問項目
1. 防災意識向上に向けた町の取り組みについて

[詳細は12ページ](#)

※一般質問の原稿は、それぞれの質問者が作成しています。

出雲崎町議会
YouTube チャンネル

12月定例会の録画中継はこちらからご覧いただけます➡





宮下 孝幸 議員

買い物難民救済策は!?

町長

買い物は移動販売車を、しかし、 デマンド交通は変えない…!

買い物難民救済策は…

宮下 海岸地区の食卓を支えて来た、スーパー廃業の大変残念な一報が飛び込んできた。

私は、過去在任中にも、この問題を提起し質問をしたが、今日までその打開策の提示はなされていない。

移動販売の活用について

宮下 現在でも一部の町民は、生協系の移動販売を利用してはお宅も存在しているが、海岸地区に住まいする、特に移動手段を持たない高齢者にとり、地区店舗の相次ぐ廃業により、益々買い物困難となっている。町長は、この件につき、先般の意見交換会の際、先ずは商工会にとの発言をしているが、コロナ禍の中自らも厳しい事業運営をしている店舗業者に、果たしてその様な余力が存在するのか、はなはだ疑問だ。仮に存在しても異業種参入では、この問題は解決しな

いが、町長は、どの様にして救済をするのか。

町長 町の大きな損失だと思ふ。フードセンターなども、事業を強化したいとの話もあるし、生協の週一回の宅配など、その他の取組もあるが、これから様々な観点から多角的に検証ししっかりとやっていく。

宮下 平成22年、経済産業省もいわゆる「買い物弱者支援事業」を公募し、全国12の事業が採択され予算充たされた。

資金的な面でも、このような事業が存在するが、町は深刻なこの問題に付き、早急に答えを出すべきだ。

町長 補助金の為ではない。これからは、物の売り買いだけでなく、買い物に集まる皆さんの茶の間ともなる、移動販売車を徹底的にやるべきだ。

デマンド交通の活用について

宮下 神奈川県中井町では、隣接する秦野市への運

行を可能とし、秦野市赤字病院や、買い物は大型スーパー西友やマックスバリユへの移動を可能としている。

しかも、町内利用者が14・1%なのに対し、秦野市への利用者は、なんと31・9%にも上る。地方過疎地にこそ必要な対策。

当町も同様な取組みとしてタクシー利用に近い、ドアTODア運行に変更すべきだ。

町長 他の自治体の真似をするつもりはない。デマンド運行改正の提案は不可能だ。デマンド交通はデマンド交通の役割がある。これを変えるつもりはなく、現状のまま運行し、既存の公共交通機関であるバスや電車の運行維持に全力を尽くしていく。

宮下 我々にとり、あくまでも主権者は町民であると言う事を忘れてはならない。日々生活をし、対象となる町民にとり、事は深刻であり、急を要すこの問題である事を重ねて強く申し添えておく。



買い物先を失う海岸の街並み…



加藤 修三 議員

イノシシによる被害を どう防ぐか

町長

猟友会の皆さんから捕獲を基本に 個人の田、畑にも対応する補助を出す

イノシシ出没情報が
多くなっている現状を
どう思っているのか

加藤 全国各地で野生動物による農作物の被害が多発し、特に収穫を目前にした稲被害も多発しており、

全国各地でイノシシが商業施設や学校に出没し大人子供が噛まれ押倒され怪我をする被害も出ているが、当町もイノシシ出没情報が多くなっている現状をどう思っているのか伺う。

現状イノシシが

減少しているとは

言えない

町長 イノシシ等の出没情報は令和元年度の70件をピークに、昨年度は5件と減少している。

今年度は11月末で5件で令和元年度は、70件のうち20件は、つまり団地を中心に数日間出没したことによる通報、50件は主に農村部であり、**猟友会の皆さんの活躍**により捕獲が進んでいくことで、通報件数も若干減少しているが近年は出没

しても通報しない方もおり通報件数だけでイノシシが減少しているとは言えない現状だ。

イノシシなどの獣から

町民をどう守るか

加藤 全国各地でイノシシに追いかけられたり、

襲われ手足をかまれ怪我をしたり亡くなられる人的被害が多発しており、県内においても、新発田市の中学生が下校時イノシシに追いかけられたり、落水付近で乗用車に鹿らしき獣に衝突され、車体は破損し、運転手は頸椎損傷の怪我をしました。当町においても、海岸部でイノシシ出没の注意放送が数回あり、人的被害が危惧される中、イノシシなどの獣から町民をどう守るかを伺う。

迅速な対応で

住民の安全確保に

努めてまいります

町長 イノシシの出没が通学路沿いの場合は、小中学校へ連絡と児童生徒に注

意喚起、職員の巡回と確認防護態勢を取り、町内出没時は警察、消防に連絡、防災行政無線で注意広報を行い、警察と職員で巡回し、町なかに滞在するイノシシに対しては、猟友会に出勤を依頼し、町は連絡があれば迅速に対応し住民の安全確保に努めていく。

個人の田畑にも

害獣防止の補助を

加藤 国は電気柵など防獣対策補助は集落に農家が数件以上ないと出ないとのことですが、農家減少で補助対象外の田畑、高齢者が

生きがいにしている畑も含め、営農意欲の減退や作物栽培をやめる人のないよう、害獣防止補助を出せないか伺う。

新年度は個人にも

補助金を出し

畑作にも対応する

町長 他にもイノシシが嫌うバイオオマスの廃液利用で全くイノシシが出没しないという事例が新聞に出ており、先進地の試みをおこちにも提供すべきではないかと、**猟友会の皆さんと相図り**、あらゆる手段、方法を講じながら対応していく。



猟友会の更なる害獣駆除活動に期待します

災害時 町の公助、限界があることを 明言してほしい!!



高橋 速円 議員

町長

(答弁噛みあわず)

自らの身は自ら守るを鉄則とする

2年前の答弁がオザナリ

高橋 2年前、自助・共助・公助のうち、公助に限界があることを町民にきちんと伝える必要がある、と申し上げた。

町長もこのことに、その通りだ、と答弁された。町民は何かあると町がなんとかしてくれると思っただけ。しかしどうシミュレーションしても限界がある。このことを町長は町民に伝えてほしいのだが、この2年間なされていない。

一人も死傷者を出さない、この鉄則でやる

町長 自らの身は自ら守る、の鉄則で対応する。

噛みあっていない

高橋 平常時から町民に公助の限界を伝えてほしいと申し上げているのだが、噛みあいませんね。町長発言が一番町民には伝

わるから申し上げているのだ。

避難所の運営についてもいざという時は避難民が運営するのだが、このことをほとんどの町民は知らない。強くきちんと町民に伝えるべきだ。

避難訓練時に理解を求め

町長 避難訓練時に自分たちで避難所をつくりあげるといふ認識をもっていた。大きく努める。

自主防災組織も普段家におられる皆さんから担っていただくことが大事だ。



輪島市・道の駅赤神のライダー歓迎イメージキャラと歓迎看板

ライダー歓迎の街・出雲崎を 謳いあげよう

町長

PRに努める

バイクを歓迎できないか

高橋 輪島市や埼玉・小鹿野町ではバイクのライダーを地域挙げて歓迎し、特典を与えている。近隣ではどこもやっていない。この際歓迎の街、出雲崎を謳い、嫌悪しないで交流人口増に繋がらないか。天領の里の広場の凸凹改修の際検討できないか。

共存共栄を図る

町長 歓迎、天領の里と協力してバイクを歓迎しながら地元住民との共存共栄を図り交流人口の増大、PRに努めたい。



仙海 直樹 議員

Q&A 今後は起業支援が必要では

町長

柔軟に対応したい

宿泊業者の閉店を どう思うか

【仙海】 当町では、近年、宿泊業者の閉店が続いている。観光の町として宿泊施設が減少することは、大きな問題だと思うが町長はどう思うか。

危機感を持っている

【町長】 大変なことで危機感を持っている。観光の町として、通過型ではなく宿泊をしてもらいたいと思う。状況を踏まえて、いろいろな方と相図りながら、出雲崎においていただいた方に、対応できるように頑張っていきたいと思っている。

町がやる考えは

【仙海】 町が介入して宿泊施設をおこなう考えはないか。

今のところない

【町長】 町が宿泊施設をおこなう考えは今のところない。止めた宿泊施設を活用できるような仕掛け人を探そう、町としてもいろいろな情報を駆使しながら進めていきたいと考えている。

5年先・10年先が心配

【仙海】 この状況が続くと5年後、10年後、町は大変なことになると思う。農業や漁業も含め、事業承継や起業する方にダイレクトに届く支援が必要と考えるが町長はどのように考えるか。

柔軟な対応も必要

【町長】 町もいろいろな補助制度があるが、廃業した店舗や空き家を活用して、営業をやりたいという方が出てくれば、制度は制度として、ご希望を聞き、柔軟に対応することも必要ではないかと思っている。

起業型地域おこし協力隊 を募集しては

【仙海】 起業型の地域おこし協力隊は、商売や会社を起すので定住につながりやすいメリットがある。起業すれば雇用が生まれる可能性もあり、税金の面でも法人税などが入ってくる可能性も考えられる。起業型地域おこし協力隊の募集について町長はどのように考えるか。

起業を前提に 募集はしない

【町長】 協力隊の募集は、出雲崎に合った新しい仕組みを行うことをテーマとして募集したいと考えている。具体的には、空き家バンクの効果的PR、ふるさと納税の返礼品のPR、移住希望者の対応など、町役場だけでは対応が難しいサービス、きめ細やかに取り組むこととする。事業者に対しては、商品の情報発信や、販売促進についてサポートすること等

を、協力隊の活動の定義として募集をおこなう。

空き家を活用できないか

【仙海】 町が空き家を改修して、ペントなどの際に店舗として貸し出すなど、お試し店舗のような形で、起業に繋げるようなやり方はできないものか。

応援はするが

【町長】 空き家といっても所有者があり、町が改修するのではなく、事業を開始する皆さんの意向で空き家を活用してもらいたい。行政が全て行うと必ず行き詰まる。そのような意味で、空き家を本当に活用したいという人が出てくれば町もできる限り応援していきたい。





小黒 博泰 議員

地域おこし協力隊の募集は

町長

オールマイティーな人材を 求める

一年間で受入れ態勢等で 改善した点は

小黒 昨年9月定例会での一般質問において、地域おこし協力隊の受入れ態勢改善をお願いした。

住居などの受入れ態勢を固め、受け入れる町として最善を尽くし、対応できる要望は限りなく十分受け入れたいと答弁いただいた。

しかし、住居や体験型施設などは全く整備されていなく、今活躍されている協力隊の要望等も受け入れていない感じがする。そこでこの約一年間で、町として地域おこし協力隊の受入れ態勢等々で改善した点は何があるか。

ミーティングを定期的に 設けサポートしてきた

町長 昨年は残念ながら任期途中で退任となった協力隊員がおり、町として十分なサポートができないところがあったと反省している。

他地域の協力隊アンケートによると、一年目の協力隊員の悩みとして、地域や

行政との関係性という人間関係が挙げられている。退任された方の反省も踏まえ、にいがたイナカレッジと連携し、地域との関係性づくりや活動の進め方、町での暮らしのことを相談するミーティングを定期的に設け、活動面、生活面併せてサポートしてきた。

新年度の 地域おこし協力隊の募集は

小黒 冒頭に3月に坂口さん、6月に石坂さんが退任するとの説明があった。石坂さんは6月で3年の任期が終了することは分かっていたが、坂口さんが3月で退任するのは初めてお聞きし非常に残念に思う。そこで新年度、地域おこし協力隊の募集はするのか。

2名採用したい考え

町長 2名の方が退任をされるので、町が抱えているいろいろな問題を協力隊としてしっかりと提言、サポートしていただく方であれば、2名を採用したいと考えている。



蔵と書

住居などの受入れ態勢は

小黒 協力隊の住居や体験型施設などは整備されていない。現在、協力隊の住居としている、舛太さんはふるさと交流施設として整備された施設で、協力隊の住居としてふさわしくないと考える。

行政が仲介に入り、空き家を利用していただきたいと考えるが、新たな協力隊の住居をどのように考えているのか。

事前に希望等を把握し 対応する

町長 これから受け入れる協力隊については、3年間住む住居の希望等をしっかり把握し対応する。また

事前に見聞いただき、お互いに確認しながら進めていく。

どのような人材を 求めるのか

小黒 活発で若い方が来れば町も活性化すると思うが、起業型の協力隊や農業漁業など後継者募集型の人材募集も必要と考えるが。

情熱と行動力を持った 隊員を期待する

町長 地域おこし協力隊の刺激を受け、意欲を住民に与えてくれるような、情熱と行動力を持った隊員を期待する。特定の募集要項にするとなかなか難しいので、当面はオールマイティーな人材を進める。



過去の募集画像



石川 豊 議員

新年度当初予算の編成は いかに!?

町長

人口対策・子育て支援・ 教育環境整備などを中心に

**新年度当初予算の歳入並びに
歳出の重点は何か**

石川 新年度当初予算の編成にあたり、歳入並びに歳出について重点的に考えていることは何か、町長の所見を伺う。

町長 歳入は地方交付税・補助金・過疎債等を最大限活用して事業目的を進めていく。

また歳出は、コスト意識を維持しつつ、重点かつ効果的に諸課題・事業に積極果敢な投入を考えている。

**重点施策及び
懸案事項は何か**

石川 新年度における重点施策また、懸案事項について現時点での町長の所見を伺う。

町長 第6次出雲崎町総合計画、さらには「まち・

ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、人口減少対策を重点目標として掲げる。

社会動態は4年連続のプラスになる可能性があり、子育て支援対策を徹底的に実施していく。未来を担う子育て支援の町宣言を行い出雲崎町の注目度を挙げて移住人口の推進を図る。子育てとタイアップして、大変な反響・人気を集めている公設塾の開設に伴い、教育関連予算も十分に措置していく考えである。

農漁業、商工業の問題に対して適切に対応していくと同時に、カーボンニュートラル・公共交通の問題に対しても、しっかりと対策を講じていく所存である。コロナ禍における地方祭更には伝統芸能が、消えつつある事が懸念材料である来年の秋を目前に、若者を中心に、いろいろな皆さんからおいでいただけるような、食を中心とした大イベントを計画している。

**財政調整基金の
妥当な金額は、いくら?**

石川 今年度の当初予算総額に占める割合は40%弱であるが、町の規模として多すぎると思われるが、妥当な%はどれくらいか、町長の見解を伺う。

町長 町の規模からすれば、多いということ、減債基金、公共建物の維持関連修繕基金に振向け、財政

の安定化を図っている。ひとたび大規模自然災害等の不測の事態が発生すれば、財政調整基金は一瞬にして底をついてしまう。

財政調整基金にある程度の余裕を持たないと、重点的な事業に財政出動を必要とする時に対応できないからである。

町民各位には、財政運営も含め、ご理解いただけるように広報することが基本である。



出雲崎町役場庁舎

災害やミサイルの脅威から命を守って



島 明日香 議員

町長

全てに対する体制を整えることは難しい

広域避難指示が出た際の移動手段は

島 在学中や在園中に広域避難指示が出て、保護者の迎えを待つ間もない場合、園児や児童生徒、先生方を含めた移動手段の確保はできているか。

確保されていない

町長 通園バス等を利用して海岸公民館や改善センター等最も近い避難所に避難する。小中学校では、即対応できる移動手段も人員もない。

ミサイルが発射され、当該地になった場合は、町内には頑丈な建物がないので可能な限り安全な所で待機が現状。国や県との連携を保ちながら、速やかな対応ができるよう学習し、町民に伝えていく。

頭部を守る

防災用品の完備を

島 小中学校をはじめ町の公共施設、通園通学バス内に防災ヘルメット（ヘ

ルメットと防災頭巾の機能を併合した商品もある）を常備しておくことにより、保護者と離れている間も、より安全な避難が可能となると考える。

品物を揃えることが万能ではない

町長 こどもたち自らも災害時の想定や心構えをしながら、日常訓練や講習会で知識を身につけておくことが大事である。また、安全避難の誘導は先生がしっかりとることになっている。バスの運転手さん等々も災害に対する知識を頭の中においていただきながら、実状にあった対応をしていきたい。

親としても不安のこころ

島 出雲崎こども園さんでは、至る所に防災頭巾や先生方のヘルメットが完備され、日頃の訓練も徹底されているが、進学したら頭部を守るものもなく形式的な訓練が実施され、児童生徒の災害に対する危機感

も薄れてしまうのではないか。

自然災害に加え、ミサイルの脅威から命を守るための安心材料一つ増やせないのは非常に不安である。

町のこどもたちに対して大人の事情を当てはめたり計画書や報告書に目を通すだけではなく、実質的な内容の訓練を取り入れたり、町としてもっと密に介入してほしい。

今一度、学校や関係者とよく話し合っていたらいい。



出雲崎こども園の防災頭巾

防災グッズ



防災意識向上のために

島 物価高騰で日々の暮らしが圧迫されているなか、防災用品等を購入する余裕がないと考えるご家庭も多いと察する。そのような状況だからこそ、防災用品の購入や防災に関する講習会に参加した場合に対し町内で使用できる商品券等を発行できないか。

商品券発行の考えはない

町長 60歳以上の世帯が消火器を購入する際、自主防災組織が物品を購入する場合にも補助をしている。その自主防災組織に対する期待をかけながら、町も町なりに町民に防災無線などで積極的に防災を呼びかけていく。

委員会視察・調査報告

総務文教 常任委員会

出雲崎小・中学校の現地調査

総務文教常任委員会では令和4年11月29日出雲崎小学校と出雲崎中学校を訪問いたしました。

各校で、学校長から学校経営方針と現状について説明を受け、意見交換を行いました。

まず、小学校ですが、今年度も昨年引き続き「自



出雲崎小学校



らかかわる」を重点目標にコロナ禍において人や地域との交流が希薄になりやすいことから、これから必要な力を関わりの中で生み出していくために、生きる力の育成や関わりを深める教育計画を設定しています。校内の見学でも、子どもたちの学習成果が誰にでも見やすく工夫して展示されていました。多くの教室で教育補助員・介助員等が配置され、個に応じた支援が行なわれています。

施設見学では、4階特別教室の空調、4階踊り場の網戸、家庭科教室調理台等に改修改善の必要があるとして報告いたしました。

次に、中学校でも人と人とのつながりを大切に、人と関わる活動を積極的に取り入れているとの事でした。特に、創立50周年を機に、出雲崎に根付く「心耕」の精神こそが学校教育目標の「たくましい実践」を通して「豊かな心」を醸成するものだと、自律・慈愛・挑戦を合い言葉に取組んでいます。今年度は部活動の各大会・駅伝参加の他

に、作文コンクールコンテストや県ジュニア美術展で何人もの受賞があり、生徒の活躍が明るい話題でした。学校施設では、理科室の実験台、教育相談室の網戸留守番電話、教務室備品等に改修改善が必要として報告いたしました。



出雲崎中学校

なお、両校に共通して、LED照明への計画的な入れ替えが必要と思われます。毎年定例の現地視察ですが、貴重な機会を捉えて学校現場や行政と協力しながら、また地域の皆さまとともに、出雲崎の子どもたちの教育環境の整備・改善に努めてまいりたいと考えています。

(高桑佳子)

社会産業 常任委員会

現地調査

要な箇所や不法投棄されやすい場所などが多く見受けられました。

委員からは、林業関係者のためにも林道整備を続けて行ってほしい、林道が良くなると利用者が多くなり不法投棄や火災などに注意する必要があるなどの意見がありました。

委員会としては、山林を整備し山を守る林業関係者のためにも林道整備を継続していただき、また看板の設置と定期的なパトロールを行い利用者の安全や不法投棄防止対策を徹底するよう求めました。

(小黒博泰)

本委員会閉会中の継続調査として、令和4年9月16日に現地調査を行いました。調査は、今年度舗装工事が行われ、長年にわたり整備されてきた林道船橋田中線、及び利用が少なくなつた小木相田線、町道小木ノ城線の現状を調査いたしました。

林道船橋田中線は近年整備された林道で、森林組合などによる間伐作業も進んでおり、倒木なども少なく特に問題は無いと感じました。

小木相田線、町道小木ノ城線においては、近年利用率も少ないためか道路わきの雑木が生い茂り伐採が必要と思われる所や、安全な通行のために転落防止が必



林道船橋田中線

全員協議会 10月～12月開催分

全員協議会は議案の審査又は議会の運営に関し、協議または調整を行うための場です。行政内容あるいは、提出議案について理解を深める場にもなっています。主なものから抜粋して掲載しています。

コロナ禍における 地元経済支援策の評価

高橋議員 支援策が特定の事業者に偏っている感じを受けるがその効果や評価はどうか。

産業観光課長 各事業者へ、売り上げの減少額や具体的な経営状況についてアンケートをとりその意見を集約し、これまでコロナ支援策を行ってきた。

来てみてアピール応援支援金は、事業者自らがPRし、経営を立て直すという必要性を感じ今回、取り組んだ事業者とそうでない事業者に差が出たと考えらる。

高橋議員 町民への支援策についても、国以上にカバーできるような応援策を積極的に行ってほしい。

総務課長 新型コロナウイルス感染症の地方創生臨時交付金を充当し、令和4年12月から3か月間を対象にプレミアム商品券を発行する。

電気ガス・食料品等 価格高騰緊急支援給付金

総務課長 国の予備費で内閣府が実施する事業であり、家庭への影響が大きい低所得世帯に対して1世帯5万円を支給する。当町の対象世帯数は556世帯を見込んでおり、100%国の補助事業となる。広報いずもぎ11月号でもお知らせ済みである。

2馬力のボートの 乗り入れ・出船場所

仙海議員 レジャー用のゴムボート、船外機のついたゴムボートの乗り入れの際の騒音、ポイ捨て、車のすれ違いや防犯面の心配などトラブルが多発している。看板や柵で出船場所を規制するような対策はないか。町や県が問題を解決するため町民の不安を解消してほしい。



令和4年度社会福祉施設 物価高騰対策支援金交付事業

保健福祉課長 コロナ感染症の流行が長期化するなか、物価高騰の影響を受けながら介護、障がい、児童福祉サービス等、献身的に提供していただいている事業者に対して支援金を交付し、サービスの安定的提供を図る。光熱費、車両燃料費が前年同月の支出額に比べ増加している場合に支援金を交付する。財源については、新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金の追加策として創設された、電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を充当する。

出雲崎こども園 通園バス運行事業補助金

こども未来室長 平成21年度に購入し、走行距離24万kmとなる通園バスが、経年劣化により不具合や故障が頻発していることから、将来負担を考え、児童21人定員のハイエースをリースする。リース期間は5年間で、月額8万4000円程度となる予定。



購入したこども園通園バス

小学校のタフレット バッテリー交換

教育課長 夏休み中に1・2年生の教室で保管されていたタフレットのうち、25台のバッテリーパック内部からガスが発生し膨張した。メーカーによると、2、3年が寿命であること、夏場の教室が高温になったことが原因である可能性が高く、バッテリーが消耗品であることから使用者負担での修繕が必要との回答がきた。バッテリー1台が1万6900円、作業費が1万1300円、消費税を含め25台分で77万5500円の見積となる。

高梁議員 契約する際に製造物責任の観点からそのような説明はなかったのか。なかったのであれば、ある程度販売元にも責任があるのではないか。

教育課長 リース物件として契約を交わすが、電子機器の取扱について一般的なことは書かれておらず、別ルートでもアタックしたが、同様の回答で終始一貫していた。

通園通学バスでの置き去り防止

加藤議員 各地で小学生や園児がバス車内へ置き去りにされ、痛ましい事故が起きています。今後、子どもたちが犠牲になる悲劇を起こさないために、当町での置き去り防止体制や安全装置を含む安全対策の有無、助けを求める方法はどのようなになっているか。

こども未来室長 国のマニュアルや両園の規定によって運行業務を実施している。国が定める運行安全管理について聞き取り調査や現地調査を実施済み。学校では、運転員による各停留所の乗降人数の確認や社内研修等を実施し、運行事業者と感染対策と並行して、安全運行を徹底していく。

廃墟のヒラメ養殖場の不法投棄対策

加藤議員 町の不法投棄防止策や道路沿いの町有地の管理体制はどのようなになっているか。

産業観光課長 ヒラメ養殖場跡地は、現在、誰も管理していない状況である。ゲートボール場については町が管理しているが町道からの入口にあった柵がなくなり、適切な管理ができていない。入口に柵と不法投棄禁止の看板などで第三者が立ち入れないように対応する。

不法投棄されたゴミは迅速に対処し、除草や定期的な巡回、早期情報収集をおこなう。生産性のない土地であることから、防犯カメラの設置は難しいが、警察とも連携して、不法投棄の温床にならないよう努める。

新型コロナウイルス感染症に関する町の対応

高桑議員 コロナ抗原検査キットは各家庭で用意していないという方々にどのように対応しているか。またどのような形で使用されているのか。

総務課長 特に明確な決まりはなく、濃厚接触者になる可能性があったり、感染者と接触があった場合に渡している。

空き家の支障木処理

小黒議員 空き家が増加しているなか、庭木等が管理されておらず、町道などに支障を及ぼしているが、町の対策や町民から要請があった場合の対応はどのようなになっているか。

総務課長 空き家の管理者や相続人に状況を説明し対処している。通行の支障になっている木々は、町で伐採し適正場所に残置し、管理者に処分を依頼する場合もある。町民から伐採の要請があれば同様の流れで処理している。また、毎年固定資産税の通知文書の送付の際にチラシを同封し、庭木等について適正管理を依頼している。

JA農産物加工所の売却

産業観光課長 小木地内にあるJA所有の農産物加工所と町が所有する貯蔵施設について、購入希望があり、両施設を公募方式で売却することとした。

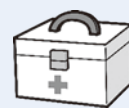


旧JA農産物加工所

出雲崎町における安定ヨウ素剤の事前配布

総務課長 近年頻発する記録的積雪等の地域事情を考慮すると緊急配備では原子力施設から30km圏（UPZ）内の住民が、円滑に安定ヨウ素剤を受取ることができない可能性があることから希望する住民等に対して事前配布できるよう、国と県が協議をおこない、UPZ内住民への事前配布が認められた。対象者は、40歳未満、40歳以上

上の妊婦、授乳婦及び妊娠希望の女性とされ、県が住民基本台帳の情報を基に案内等を配布する。（40歳以上も希望者には事前配布可能）配布方法は、郵送会場配布、薬局配布とし、令和5年2月以降に案内を発送し、3月以降に配布予定である。



木質バイオマス発電事業の進捗状況

産業観光課長 令和4年5月に、発電所の運転状況を含めた施設の概要等を地元にてビデオ上映し理解を深めていただいた。翌月、地元住民の質問に対する説明会を町と事業者で開催した。10月に事業地の相続が整ったため、改めて地元と同意に向けた話し合いをおこない、環境調査、地元貢献策を含めた同意案を協議し、11月20日に地元住民から事業実施の同意を得た。今後は、令和5年3月頃に造成工事を開始し、終わり次第プラント建設をする。約1年間かけて建設をおこない、令和6年8月を目途に操業を開始する予定である。事業者には、地元住民と良好な関係を築きながら実施していくことを願ひし、町も関与しながら進めていきたい。



立てられた不法投棄禁止の看板

出雲崎高校生との交流会

11月
18日

県立出雲崎高校の生徒さんが、町議会を訪問し交流会を行ないました。

始めに議会の仕組みや定例会の一連の流れ等をパワーポイントを見ながら聞いていただき、その後に意見交換を行ないました。

質問では、「なぜ議員になろうと思いましたか?」「給料はいくらですか?」「高校時代にやっておけば良かったことは?」など、ユニークかつドキッとさせる質問もいただきました。



実際に議員の話を聞いて、自分の意見・意思をしっかり相手に伝えることが大切だと思った。私はそれが苦手なので、少しでも相手に伝えられるように頑張りたい。

議会でどのような話し合いが進められているか知れて良かった。地域の方々の意見を聞き、安心して住めるまちづくり、来て良かったと思えるまちづくりのため、考えて活動されていることが分かった。

議員の皆さんが、小さな事でも時間をかけて考えながら活動していることを知り、労力を使うしごとであることが、あらためて分かった。

話を聞いて、どんな思いや考えを持って活動されているかがよく分かった。会う前、議員は堅い人たちと思っていたが、交流会で話したら、優しくて気さくだなあと思った。

出雲崎議会のYouTubeがあることを全く知らなかった。気になったので見たいと思う。交流会の始めは怖い感じがあったけれど、すごく楽しかった。



交流会終了後インタビューで、「皆さんが、町のために一生懸命な姿を直に見て、私自身も町のために何か行動したいと強く思いました」と、嬉しいお話が聞けました。町の未来を担う若い人たちに、大きく期待したいと思います。



出雲崎中学校3年生 町づくり提案発表会

11月
22日

出雲崎中学校3年生の皆さんから、総合的な学習の成果発表として、町議会議員が「町づくり提案発表会」にお招きいただきました。

4つのグループでそれぞれのテーマに分かれて、1.知る 2.提案の仮説を立てる 3.情報を集める 4.情報を整理・分析する 5.提案をまとめる そして、今回、6.発信するの最終場面で私たち議員が参加させていただいたものです。

Aグループ

空き家カフェでまちおこし
空き家を無料で提供し活用



Bグループ

空き家をリフォームして提供
町の医療環境の向上を



Cグループ

町のよさをもっとPR
空き家を利用した交流施設を



Dグループ

未耕作地の活用
町のよさをいかし民泊を



パワーポイントを活用しての堂々とした発表で、総合学習の集大成らしく、しっかりとした情報の下調べに基づく提案の数々でした。あらためて、「豊かな心、たくましい実践」がここにも活きていると感じました。



出まえ議会 2会場で開催

主なものから抜粋して掲載しています

議会のつぎ (主なもの)

(令和4年11月～令和5年1月)

昨年11月16日乙茂公会堂、11月18日海岸公民館にて、出まえ議会が開催されました。各会場での質問意見等に対して当日の担当常任委員会の回答、町担当課の意見見解を含め、以下のとおり掲載いたします。

乙茂公会堂

Q 当地域にある宇奈具志神社の椎の木が腐食して倒木。もう一本の椎の木も倒木の危険があり、切り



A 倒すにも多額の資金がかかり、地域だけでは対応できず困っている。

A 町の文化財となっていることから、文化財保存活動補助金を交付して支援する。

Q 乙茂地域の空き家の木や竹の伐採を町にお願いしたい。

A 総務課に聞いたところ、空き家にも所有者又は管理者がいるためそれらの伐採は管理者にお願いして実施してもらっている。尚、支障木の伐採や除草については、現在のところ補助金はない。

Q 地域づくり推進事業の補助金制度について、現行では2年間活用した場合、その翌年は事業補助金の活用ができないようになっていくが、使えるようにしてほしい。

A 地域づくり推進事業については限られた予算の中で多くの行政区から活用してもらうことを目的と

しているため、同じ事業についての補助は2年間を限度とし、1団体1事業としている。

Q 外にいる時に場所によっては防災無線の音が反響し、聞きづらい。改善できないか。

A 総務課の見解としては、設置場所との距離や気象条件により聞き取りにくい場合がある。すぐに屋外スピーカーの場所を変更することは難しいが、聞き取りやすい放送が可能か検討する。

Q 農業設備の老朽化や機械の摩耗等で、農業を続ける人にとって多大な出費になっている。揚水ポンプの修繕には町から3割の補助が出るがそれ以外にも何か補助制度はないか。

A 社会産業常任委員会としても町の農業を守っていくには行政による法人化しかないと考えており、町当局に働きかけをしているとこ

11・1 新潟県町村自治に関する研修会

9 実行運動・議長会議(東京都)

11 議会運営委員会

16 出まえ議会(乙茂公会堂)

↓詳細はp18

18 出雲崎高校生との交流会

↓詳細はp16

出まえ議会(海岸公民館)

↓詳細はp19

22 出雲崎中学生との交流会

↓詳細はp17

25 第11回全員協議会 ↓詳細はp14、15

26 議会サロン(妻入り会館)

29 総務文教常任委員会 小中学校訪問

↓詳細はp13

12・2 議会運営委員会

12 12月定例会招集日 ↓詳細はp3、4

13 議会報特別委員会

13 社会産業常任委員会

14 総務文教常任委員会

14 12月定例会2日目(一般質問)

↓詳細はp5、12

16 議会運営委員会

12月定例会最終日 ↓詳細はp3、4

24 第12回全員協議会 ↓詳細はp14、15

27 議会サロン(陽だまり)

27 議会報特別委員会

1・5 議長会議(新潟市)

10 議会報特別委員会

13 議会運営委員会

17 議会報特別委員会

20 第1回全員協議会

28 議会サロン(妻入り会館)

ろである。

町も生産法人などの経営組織の検討を進めており、この中で国県補助率に町の上乗せや、その他町独自の補助制度を検討していく。個人の機械への補助は考えていない。

海岸公民館

Q 定例会一般質問にも出ていたが農業の補助金が減少している。町からはきちんとした回答が出ていない。町の財政がそこまでひっ迫しているとは思えないが、どうなっているのか。

A 担当課の意見によれば、農業機械の補助については、近年各生産組合からの要望が続き、その都度優先度の高いものから補助している。また価格低下や担い手などの課題に対しては、農業者への支援を継続し、規模拡大やコスト削減につながるものは国や県の補助制度を活用していく。

Q 町には約380haの水田があるが、米価が安く、最近では米の生産よりも麦等の生産が盛んに行わ

れている。米を作るということについて、議員はどう考えているか。

A 当日担当の総務文教常任委員会の回答は、次のとおりである。

以前より農業をする人の比率は下がっているが、一番の産業は農業なので、守るような形で議会としても行政に働きかけることが大事ではないかと思う。

また、担当課の意見は次のとおりである。

米の需要が減少している中、需要に応じた生産を基本とし、主食用・戦略作物などを組み合わせた全体の需要と所得拡大のため、経営の幅を広げていくことが大切ではないかと考えている。

Q 町が新規就農者を増やすために法人化を進めていると聞く。その取り組みはどのまで進んでいるのか。

A 就農者を増やすためには、最終的に採算が合う、儲かる農業を推進するために、行政としてもやり方を考えていくべきと考える。

担当課の意見としては、主要農家からの意見を集約し、どのくら

いの単位規模の法人化が考えられるか検討しているところで、方向が出た段階で農業者と協議を進め地域とも共有しながら町の農業の形を決定していく考えである。

Q 議会改革の一環として始めた議会サロンの効果について、議員さんはどう考えているか。

A 議会サロンにしても出まえ議会にしても、人が集まらなくなっている。議会としては、どういう形にすれば町民の皆さんからより多くの意見を集められるか、検討を進めているところである。

Q 議会改革の中で、議員報酬を上げてどうか。議会サロンも含めて検討の中に入れていただければと思う。

A 議員10人で考え、まとめていきたいと思う。議員のなり手不足を解決するうえでも、議員報酬を上げることは必要不可欠になってくると思う。

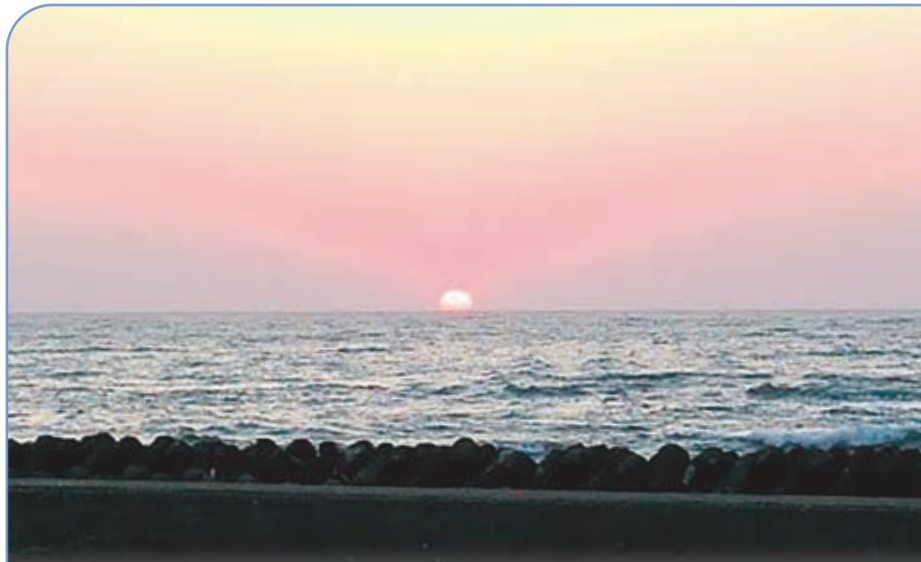
詳細については議会ホームページをご覧ください。

議会サロン今後の予定

開催日	時間	場所	担当議員	
2月25日(土)	午前10時～正午	ホッと情報館 陽だまり	三輪 正	加藤 修三
3月25日(土)	午前10時～正午	妻入り会館	宮下 孝幸	中野 勝正
4月22日(土)	午前10時～正午	ホッと情報館 陽だまり	仙海 直樹	石川 豊

町議会では、町民の皆さまのご意見・ご要望等をお聞きする『議会サロン』を開催しています。担当議員2名が皆さまをお待ちしています。ぜひ、お越しください。





柏

崎市から転居して25年が経過した。妻入りの街並みに感嘆し風が吹くと家は揺れ、雪が積もっても帰宅すると消えている。星空は見上げなくても海に向かって目線の高さに広がり、情

緒豊かさを感じさせてくれる。地域の方にお世話になり、友人にも恵まれ、楽しくワクワク生活させて頂いているが、コ

ロナ禍で色々な行事が中止となっているのが残念です。また賑やかな町の風景が戻ってきて欲しいと願っています。



みんなの声

ワクワク出雲崎!

木折町

よし だ まさ かつ
吉 田 正 勝 さん



妻入り会館では繭玉飾り

表紙の小話

皆様、健やかな新年をお迎えることと存じます。行動制限のないお正月、久しぶりに離れて暮らすご家族やご親戚とお会いになった方もおられると思います。

お正月の恒例行事が行なわれるところも増えてきました。海岸地域の獅子舞は3年ぶりでしょうか。今回は、地域の伝統行事や風景を撮りためておられる町民の方から、素敵な一枚をお借りました。妻入りの街並みと獅子がマッチして、なんとも言えぬ良い雰囲気です。

コロナ禍で制限された我慢の時を過ごしたからこそ、こうして少しずつ戻ってくる日常が、愛おしく感じられます。どうか皆様にとっても良い年になりますように。

(高桑佳子)

編集後記

新年明けましておめでとうございませう。

昨年は、コロナ禍に加えてロシアによるウクライナ侵攻、また異常気象による自然災害の多い年でありました。今年もコロナ禍は続きそうですが、諦めずに希望を持って毎日を過ごしたいものです。

町議会としても、町民様様の日々の暮らしが少しでも安心安全に生活できるよう奮闘しておりますので、何か気になることがありましたら遠慮なくお問い合わせいただきたいと思います。

昨年10月に良寛堂建立100周年記念第44回全国良寛会出雲崎大会が盛大に開催され、町議会議員も参加してきたところがあります。

記念鼎談では、今まで知らなかった事柄について大変興味深く聞くことができ、何か心が豊かになった気分でした。

さて、令和5年が始まりました。議会だよりをご愛読されている皆様にとって今年一年が良い年になりますよう、編集員一同頑張りますので、よろしくお願いたします。

(石川 豊)

議会報特別委員会

- 委員長 高桑 佳子
- 副委員長 石川 豊
- 委員 仙海 直樹
- 委員 小黒 博泰
- 委員 島明日香